

Press Release

2014年6月12日
 減らせ突然死実行委員会
 メドピア株式会社

医師対象：AEDに関する意識調査（医師2,000人以上が回答）

病院外で心停止への対応は『医師も』簡単ではない

心停止を迅速に判断できる自信がない：約4割

AEDの使用について、自信がない：約3割

減らせ突然死プロジェクト (<http://aed-project.jp/>) 実行委員会<委員長 三田村秀雄（国家公務員共済組合連合会 立川病院 院長）>は、医師約66,000人以上が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>と共同で、『医師対象AED意識調査』を実施しました。

結果を下記の通り取り纏めましたので、お知らせいたします。

<主な調査結果>

- 【1】病院外で、心停止を10秒以内に判断「できる」と回答した医師は、全体の約6割（61.3%）。
「自信がない」とする医師が36.1%に及んだ。
- 【2】9割以上の医師が、AEDに電気ショックの必要な状態かを診断する機能があることを認知。
また、何らかの形で、AEDを利用・見聞きした医師も9割を大きく超える結果となった。
- 【3】一方で、実際のAEDの利用について、約2割の医師が、「自信がない」「できない」と回答。
日常的に蘇生にかかわる勤務医を除いた回答では、約3割に及んだ。

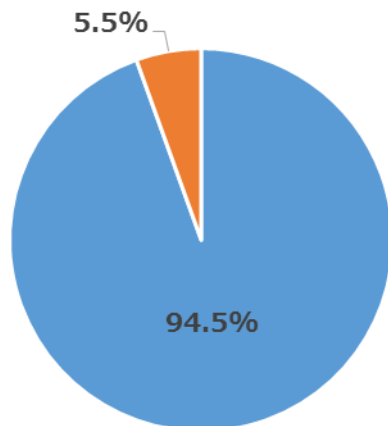
<調査概要>

調査方法	医師専用サイト「MedPeer」内において、医師会員を対象に実施		
調査対象	日本における医師免許保有者		
調査期間	2014年4月25日～5月9日		
有効回答	2107サンプル (医師2107人が回答)	属性	内訳(人)
		勤務医（日常的に蘇生に関わる）	690
		勤務医（蘇生に関わることは少ない）	1166
		開業医	213
		研究職、教員	27
		その他	11
調査機関	メドピア株式会社		

< 調査結果 【1】～【3】 >

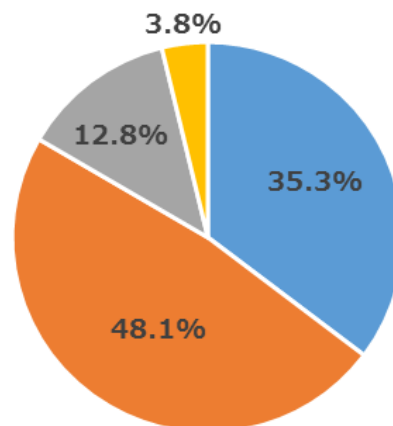
【1】9割以上の医師が、AEDに電気ショックの必要な状態かを診断する機能があることを認知。また、何らかの形で、AEDを利用・見聞きした医師も9割を大きく超える結果となった。

図1 AEDには電気ショックの必要な状態か否かを診断する機能があります。あなたは、このことを知っていますか



- 知っている 1991人
- 知らない 116人

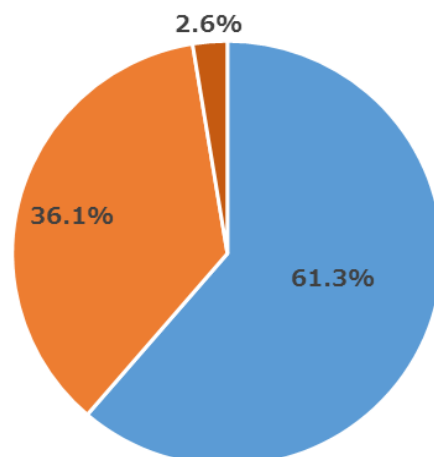
図2 あなたは、AEDについて実際に手に取ったり、使ったりしたことがありますか



- 実際に使ったことがある（院内を含む） 743人
- 使い方を学んだことがある 1014人
- 見たり聞いたりしたことがある 269人
- ない 81人

【2】病院外で、心停止を10秒以内に判断「できる」と回答した医師は、全体の約6割（61.3%）。「自信がない」とする医師が36.1%に及んだ。

図3 もし、病院外で（業務外に予期せぬ場面で）見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、あなたはその人の心臓が止まっているかどうかを（10秒以内で）判断できると思えますか



- できる 1291人
- 自信がない 760人
- できない 56人

【3】一方で、実際のAEDの利用について、約2割の医師が、「自信がない」「できない」と回答。日常的に蘇生にかかわる勤務医を除いた回答では、約3割に及んだ。

図4,図5 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、あなたはその人にAEDを使うことができますか

図4 全サンプル

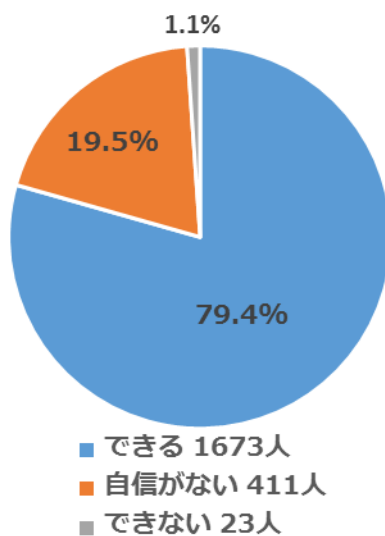
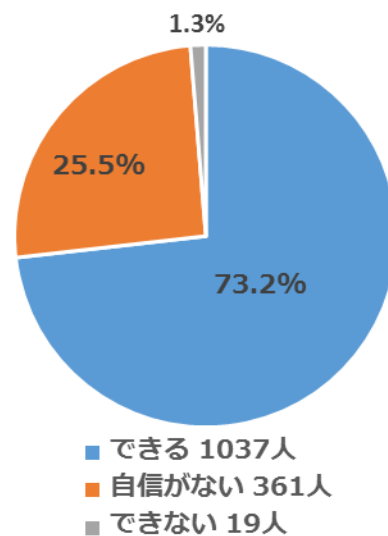


図5 「日常的に蘇生に関わる」と回答した回答者(690人)を除いた回答内訳



<減らせ突然死プロジェクトからのコメント>

石見 拓 (減らせ突然死プロジェクト実行委員会事務局長、京都大学健康科学センター准教授)

「減らせ突然死プロジェクトがNHKと共同でおこなった一般の方を対象とした調査(4月11~13日、回答数 1780人、URL: <http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/yoron/social/pdf/140422.pdf>)では、心停止の判断に自信のない人の割合が56.7%、AEDの使い方に自信のない人の割合が74.6%でした。

一方、今回の『医師対象』の調査では、心停止の判断に自信のない人の割合が36.1%、AEDの使い方に自信のない人の割合が19.5%でした。日常的に蘇生に関わらない医師では25.5%がAEDの使い方に自信がないと答えました。

医療のプロフェッショナルである医師であっても、病院外での突然の心停止への対応に不安を抱えていることを明らかにした今回の調査は、心肺蘇生・AEDの普及啓発の重要性を再認識させると共に、不安を抱え、判断に迷って当然ともいえる、突然の心停止という状況での行動を如何に促していくか、今後の心肺蘇生・AEDの普及啓発活動の課題を示唆していると思います」

<調査詳細>

問 もし、病院外で（業務外に予期せぬ場面で）見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、あなたはその人の心臓が止まっているかどうかを（10秒以内で）判断できると思いますか

選択肢	回答者	%
できる	1291人	61.3%
自信がない	760人	36.1%
できない	56人	2.6%

※比率（%）は、小数点第二位を四捨五入。その為、合計値が100.0%にならない場合もあります（以下同）

問 あなたは、AEDについて実際に手に取ったり、使ったりしたことがありますか

選択肢	回答者	%
実際に使ったことがある（院内を含む）	743人	35.3%
使い方を学んだことがある	1014人	48.1%
見たり聞いたりしたことがある	269人	12.8%
ない	81人	3.8%

問 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、あなたはその人にAEDを使うことができると思いますか

選択肢	回答者	%
できる	1673人	79.4%
自信がない	411人	19.5%
できない	23人	1.1%

問 AEDには電気ショックの必要な状態か否かを診断する機能があります。あなたは、このことを知っていますか

選択肢	回答者	%
知っている	1991人	94.5%
知らない	116人	5.5%

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL : 03-6805-0345 / e-Mail : info@medpeer.co.jp

【引用・転載時のクレジット表記のお願い】

本リリースの引用・転載の際は、必ず「減らせ突然死プロジェクトと、医師専用サイト「MedPeer」の共同調査」である旨を示すクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

■減らせ突然死プロジェクトとは

AED 導入 10 年という節目のプロジェクトとして、「心臓突然死に対する理解」と、「AED を使用することの重要性」について広く国民に普及・啓発することを目的としています。そのために、全国規模の意識調査の実施やイベントの共催、共通のバナーやロゴの提供、キャンペーンサイト（フェイスブックやツイッター）による情報発信などの活動を行い、この取り組みに参加する全国の皆様の想いをひとつにつないでいきます。

* ホームページ <http://aed-project.jp>

Facebook ページ <http://on.fb.me/1kPomK8>

■MedPeer（メドピア）とは - 2014年4月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです（URL: <https://medpeer.jp/>）。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、「臨床の決め手がみつかるサイト」として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 66,000 人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 2,000 の医療用医薬品に対して、30 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。